

第３回

穂商フェア

穂高商業高等学校

2026年10月24日（土）

10：00～14：00

穂商フェアとは

　地域や企業とともに取り組んできた学びの成果を、生徒自身が発信するイベントです。発表や販売、体験企画などを通して、活動の工夫や発見を紹介。来場者の皆さんとの交流を、次の学びにつなげます。

ビジネス探究システムとは

　商業の学びを土台に、３年間で段階的に課題を解決する力を育む、本校独自のプログラムです。

　１年次は「ケースメソッド」で、事例をもとに話し合い、多様な考え方に触れます。

　２年次は「ビジネス探究（PBL）」で、企業から示された課題の解決に取り組みます。

　３年次は「課題研究（地域人教育HOTAKA）」で、地域の人々と協力し、自ら考えたことを実践します。

校長メッセージ

　本日は、お忙しい中「穂商フェア」にご来校いただきましてありがとうございます。

　さて、販売を目的としていた「穂商マーケット」から、学習成果の中間発表の場を目的とした「穂商フェア」に移行し、今年度で3年目を迎えます。昨年度は戸惑いもある中での開催でしたが、今年度はその反省も活かし、教室での販売や体験、体育館でのステージ発表会などをご用意させていただきました。

　生徒たちの成長した姿を、ぜひご覧いただければと思っております。

北校舎　教室発表・販売・体験

発表開始時刻（各回10分以内）
午前　10：10／10：40／11：10／11：40
午後　12：10／12：40／13：10／13：40

4F	被服室 未使用	学習室 飲食場所	1-1 有限会社 本郷鶏肉	1-2 株式会社 松本マツダオート	職員室 未使用
3F	図書館 未使用	学習室 株式会社 松本山雅	2-1 大信州酒造 株式会社	2-2 有限会社 小柴屋	職員室 未使用
2F	職員室 未使用	3-1 自然	3-2 株式会社 小川原塗装店 株式会社つなぐ	3ー3 蜜ろうクリーム	学習室 マルチメディア 地域交流
1F	調理室 自然				

飲食販売　商品販売

第２体育館　ステージ発表

発表開始時刻　10:15／12:10

3年　課題研究

1 有限会社本郷鶏肉
山賊焼きを広めるにはどうすればいいか？

2 マルチメディア
情報発信

3 地域交流（公民館活動）
地域コミュニティの活性化

4 高校生が考える蜜ろうの価値
蜜ろうに対する多様なニーズに応えるための販売方法のアイデアを考える

5 自然
安曇野の水資源の保全と活用

6 株式会社松本山雅３年
イベント「overhead Fes」で高校生に夢を与えるにはどうすればよいか？

発表開始時刻　11:00／13:00

２年　ビジネス探究

7 株式会社松本山雅２年
若い世代にもっとホームゲームへ来てもらうにはどうすればいいか？どのようなグッズを販売すれば売上を伸ばせるか？

8 有限会社小柴屋
公式Instagram・LINEを活用して、お店の魅力をどう発信する？

9 株式会社松本マツダオート
お客様に「お店のファン」になってもらうには、どうすればいい？

10 大信州酒造株式会社
廃棄されてしまう「酒粕」を、有効に活用する方法は？

11 株式会社小川原塗装店
若者に塗装の仕事の魅力を伝え、人材を集めるには？SNSでどう発信する？

12 株式会社つなぐ
冊子「TSUNAGU」を活用し、地域の高校生が地元企業を『もっと知りたい』『印象に残った』と感じるにはどうすればよいか？